

五月七日(木)

かんがえるのって おもしろい

谷川 俊太郎 佐々木 一澄 絵

① 課

えがかれていることを思いうかべながら音読しよう。

他の音も数えてみよう。

八音

五音

かんがえるのって おもしろい

どこかとおくへ いくみたい

しらないけしきが みえてきて

そらのあおさが ふかくなる

他にもあるかな？

詩を読んだ感想

やること

- ① ノートに日にち、題名、作者名、課題を書きましよう。
- ② 詩を声に出して読みましよう(二回)。
- ④ ノートに感想(感じたことや思いうかべたこと)を書きましよう。
- ⑤ 詩をノートに書きましよう(一行ずつ分けて、空いている所はマス空けて)。
- ⑥ 表現の工夫を見つけましよう。
- ※ 一つのまとまりは何音になっているかな？
語尾の音はどうかな？
何連に分かれているかな？
- ⑦ 強弱や速さ、間のとり方を工夫して、満足するまで音読ましよう。
- ⑧ ふりかえりを書きましよう(この詩からどんな感想をもち、どう音読したか)。

このおかのうえ このきょうしつは

みらいにおかっつて とんでいる

なかよくするつて ふしぎだね

けんかするのもし いいみたい

しらないきもちが かくれてて

まえよりもつと すきになる

このおかのうえ このがっこうは

みんなのちからで そだつてく

② ふ